

図書館へ行こう!!!

◀新発寒地区センター図書室



▲手稲コミュニティセンター図書室



▲曙図書館

ここでは、蔵書の管理がコンピュータ化されており、館

本は、一人四冊を、二週間まで借りることが出来ます。

本は、一人四冊を、二週間まで借りることが出来ます。

曙図書館は、いつも多くの人でにぎわっています。蔵書は、約八万冊。一般書だけでなく、雑誌や新聞なども数多く取りそろえているので、さまざまな目的を持った幅広い年代の人たちが集っています。



曙図書館へ

図書館は、気軽に本に親しめるほか、調べ物をすることもできる、皆さんの生涯学習を応援する施設。市立の図書施設はすべて、市民と市内に通学、通勤されている方なら誰でも利用することができます。今月は、区内にある市立図書施設をご紹介します。

さらに、コンピューター化されているほかの市立図書施設すべての本も検索できるようになっているので、ほかの図書館から取り寄せて借りる利です。

内には二台設置されている利用者用の図書検索機を使って、読みたい本を自分で探すことができます。操作は、タッチパネル式の画面に指で触れるだけで、本の名前や、著者、ジャンルなどから検索ができて、とても便利です。



◀気軽に本を探せます

足を運んでみてください。

そのほか、曙図書館では、毎月定期的に「楽しいお話し会」(毎月四回。第一、第三土曜日の午後二時三十分から、第二、第四水曜日の午後三時から、いずれも約三十分間。右の囲み記事を参照)や、「映画会」(毎月二回。第一、第三土曜日の午後三時五十分から、約三十分間)といった楽しい催しも行っています(今月の詳しい内容は、手稲区民のページ6ページの曙図書館からのお知らせを参照)。小さなお子さんでも楽しむことができますので、どうぞ一度、

ことができます。また、市内に希望の本がなかった場合、新たな購入のリクエストを受けたり、ほかの市町村の図書館が所有している本を取り寄せたりして、できるだけ皆さんにお貸しできるようにしています。

～曙図書館で活躍中～ 読み聞かせの会「わらび」

曙図書館で月に4回、「楽しいお話し会」を行っているのが、読み聞かせの会「わらび」の皆さんです。現在、会のメンバーは19人。毎回、3、4人がやって来て、読み聞かせをしてくれます。「わらび」代表の伊藤祥子さんは「子どもたちが楽しんでくれるのが、私たちにとって何よりうれしいことで、一番の財産なんです」と言い、会が発足した昭和63年10月から、長年、たくさん子どもたちに夢と感動を与えて来ています。



◀後列左から、石井勝子さん、佐藤ヒミ子さん。前列左から、市川静さん、伊藤祥子さん



夢中になって聞いている子どもたち